

令和3年度『学校評価』アンケートの結果

1. 調査期間 令和3年12月13日(月)～20日(月)
2. 調査対象 (1)保護者 在籍 21 家庭 回答 19 家庭
(2)児童生徒 在籍 18 名 回答 16 名

3. 主な調査項目

保護者アンケート	児童生徒アンケート
<ul style="list-style-type: none">・おさんは楽しく学校に通っていますか。・学校はおさんの実態を理解し、個に応じた指導を行っていると思いますか。・学校での学習活動を通し、学習の積み上げを実感していますか。・おさんの家庭学習が前年度より増えたと思いますか。・学校での自立活動は、おさんの生活力の向上につながっていると思いますか。・学校は豊かな日本語の習得をめざす指導を行っていると思いますか。・おさんのコミュニケーション力が育っていると思いますか。・学校の活動を通し、おさんの社会性が育っていると思いますか。・学校はおさんや保護者に適切な支援やアドバイスを行っていると思いますか。・保護者学習会や講演会、校外での講座やイベントの紹介など、参考になる情報が学校から得られていますか。・お便りやホームページは学校の様子を知るのに役立っていますか。・学校の災害に対する取り組みは分かりやすく伝えられていますか。	<ul style="list-style-type: none">・学校は好きですか。・学校には楽しいことがありますか。・先生は、勉強をわかりやすく教えてくれていますか。・学校の授業で、学力がついたと思いますか。・自分からあいさつをしていますか。・健康や毎日の生活を大切にしていますか。・先生は、コミュニケーションが取りやすいように工夫してくれていますか。・先生はあなたの話をよく聞いてくれますか。・先生は、進路や学習について、一緒に考えてくれていますか。・講演会で先輩や外部の人たちの話を聞くことは、進路や生活の参考になっていますか。・火事や地震、不審者など危険な時にどう行動するかわかりますか。

4. 集計・分析について

アンケートは ABCD の4択で行いましたが、下のように、「肯定的回答」「否定的回答」に分類し、特徴的なところを中心に分析しました。

- A そう思う → 肯定的回答
B 少しそう思う
-
- C あまり思わない → 否定的回答
D 思わない



5. 結果及び分析

<幼稚園>

保護者

幼稚園はすべての質問項目で「肯定的回答」の結果となりました。

日頃より保護者と教員との情報交換を行う機会が多く、今後も、保護者が必要としている情報を普段から聞き取るようにし、紹介できる情報があればその都度知らせるようにしたいと思います。

また、幼児の人数が少ないため、友達関係を形成する場を設けることが幼稚園の課題です。今後も学部で話し合い、幼児に合った少人数なりの関係づくりが行える環境を設定していきたいと思います。



<小学部>

児童

児童アンケートでは全ての質問項目で「肯定的回答」が得られました。特に「学校が好き、楽しい」という問いに対しては、全員が「そう思う」で回答していました。

その他の項目で、一部「少しそう思う」と回答しているものあることから、今後も子どもの気持ちに寄り添いながら個に応じた適切な指導に努めたいと思います。



保護者

保護者アンケートでは、多くの質問項目で「肯定的回答」が得られました。「否定的回答」は少数ではありましたが4項目(コミュニケーション力、社会性、お便り・HP、災害への取組)ありました。

「コミュニケーション力」については、朝の会や行事、長期休業後の振りかえりなど、自分の気持ちを伝えたり、発表する場を意図的に設定したり、各授業の中で積極的に考えを伝えやすい雰囲気づくりをしていきたいです。皆がわかりやすい手話表現についても指導していきたいと思います。

「社会性」については、少人数であるが故の課題でもあるといえますが、今後も学年を越えた集団での活動に意識的に取り組み、可能な範囲で校外での活動を設定し、多くの体験をさせ、社会性を育てていきたいと思います。

「お便り・HP」については、学級通信・学部通信でより学校の様子を伝えられるように、内容等を工夫していきたいと思います。HP(小学部)については、定期的に更新できていなかったため、随時更新するよう努めていきます。

「災害への取組」については、他の項目に比べて否定的回答が多く、しっかりと受け止めて考えていきたいと思います。学校としての発信をはじめ各お便り、面談等で、年度当初に配布する災害に対する取り組みを確認し、理解を得られるようにしていきます。



< 中学部・高等部 >

生徒

生徒アンケートでは「肯定的回答」が多数でした。今後は、活動の場の設定や、学習成果の実感、進路についての細かい情報の提示など、職員一丸となって推し進めてより良くしていきたいと思えます

一方で、ごく少数ではありますが「否定的回答」として挙がっていたのは、「学校が好き」「学力の向上」「健康・命」「進路や生活」等です。

「学校が好き」と感じられない理由や背景を、普段の生活の様子を細かく観察しながら掴むようにしていきたいと思えます。

「学力の向上」については、実態に合うように授業形態や内容を工夫することで、生徒自身が理解や習得の実感が得られるように努めていきます。

「健康・命」については、学部の教員だけでなく、養護教諭や栄養職員等様々な職員と協働して命の尊さや健康の大切さを伝えていきたいです。

「進路や生活」では、コロナ禍で外部講師の講演会が減ってしまったが、リモートで話を聞く機会を設けたり、できる範囲で本校に招いたりして、外部の方々と接する機会を持つようにしたいと思えます。



保護者

保護者アンケートでは多くの方から「肯定的回答」をいただきましたが、「否定的回答」も少数ではありましたが、すべての項目で見られました。

特に課題と感じられたのが、「家庭学習」「適切な支援・アドバイス」です。

「家庭学習」については、家庭での時間の使い方を生徒とともに確認しつつ、必要な学習量を生徒とともに考えながら、適正な家庭学習を設定していきたいと思えます。

「適切な支援・アドバイス」については、保護者が求める適切な支援について、面談や連絡帳等を通じて、丁寧に聞き取りながら、具体的な支援を保護者と共に考えていきたいと思えます。

自由記述欄では多くのご意見、ご感想をいただきました。生徒の実態(個性や特性)に配慮した授業づくりを学校全体としての課題として捉え、教員それぞれが一層の授業力向上を目指し、日々授業の改善に努めたいと思えます。

また、教員の手話力の向上についてご指摘がありました。本校では、コミュニケーション手段としての手話を日常的に使っていくことが求められています。個々の教職員の手話に対する意識を高めるとともに、研修会等を通じて、学校全体として組織的に手話力の向上に努めていきたいと思えます。

